

# 生物多様性の取組みについて

2023/11/1



## 生物多様性とは

地球上には3000万種もの生きものが生息していると言われています。

バランスを保っている状態のことをいいます。

私たちの住む地球上には、進化により環境に適応してきた3000万種もの生物が生息していると言われています。

SDGsにおいても、ゴール14「海の豊かさを守ろう」および15「陸の豊かさを守ろう」にて生物多様性やその価値の持続的な利用について触れられています。

生物多様性は3つのレベルに分かれており、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性があります。

### 生態系の多様性

生態系の多様性とは、干潟、サンゴ礁、森林、湿原、河川など様々なタイプの生態系がその場所、その地域の特色を反映した多様な生態系が成立しています。これを生態系の多様性と言います。

### 種の多様性

種の多様性とは動物や植物、細菌などそれぞれの種類が生息していることをいいます。生物の種類は世界で約175万種が認知されており、未確認の生物も含めると地球上には3,000万種の生物が存在していると考えられています。

### 遺伝子の多様性

遺伝子の多様性とは同じ種であっても固体や個体群の間に遺伝子レベルで違いがあることをいいます。例えば、ヒトは体の大きさや肌の色、顔の形など違いがあります。それは個人の遺伝子が他人の遺伝子と異なっているためです。これが遺伝子の多様性です。

## 私たちの生物多様性保全に向けた取組み

- ・省エネルギーなど地球温暖化防止対策に取り組みましょう。
- ・環境に配慮した製品を選びましょう。
- ・食べ残しなどの食品廃棄物を減らしましょう。
- ・山形産の食材や旬のものを選んで食べましょう。
- ・自然観察や自然体験の機会を増やしましょう。

(お取引様におかれましても、取組みのご協力をお願い致します)

## 取組みについての解説

- ・ **省エネルギーなど地球温暖化防止対策に取り組みましょう。**

温暖化が進み、世界の平均気温が1.5～2.5℃と上がると、20～30%の生き物が絶滅するおそれが高まると予想されています。

省エネルギーなど温暖化対策に取り組むことで、生き物の生息・生育環境を守ることにつながります。

- ・ **環境に配慮した製品を選びましょう。**

近年、木製品や水産物・農産物について、生物多様性に配慮した方法で生産されている製品を第三者機関が認証する取組みが進められています。

こうした製品を選ぶことでも生物多様性を守ることができます。

- ・ **食べ残しなどの食品廃棄物を減らしましょう。**

日本で排出される食品廃棄物は、1年間に約1,900万トンとされています。

食べ残しや買いすぎ、作りすぎをせず、食品廃棄物を減らすことは、生態系サービスの無駄遣いをなくし、有効利用を進める大切な取組みです。

- ・ **山形産の食材や旬のものを選んで食べましょう。**

地域でとれたものをその地域で消費する地産地消や旬のものを食べることは本来の自然の姿です。地産地消などは農地等の生態系の保全や輸送・生産に必要なエネルギーの削減にもつながります。

- ・ **自然観察や自然体験の機会を増やしましょう。**

自然とのふれあいは、身近な自然や生き物に対する興味や関心を深め、家庭や地域での対話や生物多様性に対する理解を広げます。

また、地域の魅力を再発見・創造するきっかけになります。